

検診受診率アップを目指して

日南町 福祉保健課 保健師 松本 朋子



住民課と福祉保健課の検診スタッフ
(筆者は中列左から3番目)



<日南町 DATA>

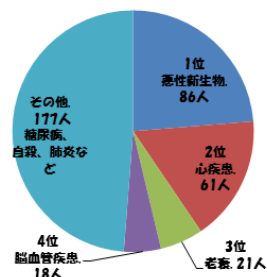
【面積】	340.87km ²
【人口】	5,383 人
【世帯数】	2,211 世帯
【高齢化率】	45.7%
【国保被保険者数】	1,419 人
【国保世帯数】	856 世帯

(2013 年 8 月 31 日現在)

日南町では、「にこにこ健康にちなん21」計画を策定し、「みんなが笑顔で暮らせる町」を目指しています。高齢化率が県下で最も高い45.7%（平成25年8月末）となり、年齢を重ねても元気で暮らすために若いうちからの健康づくりがより重要となっています。そこで、まずは健康づくりの第一歩となる検診を多くの方に受けていただき、健康づくりに役立てていただこうと考えています。検診受診率向上と、健康について意識を高めていただけるような、受けてトクする検診を目指して、さまざまな取り組みをしています。

日南町では、平成23年度各種健康診査・がん検診ともに受診者は増加傾向にありましたが、平成24年度は減少がみられました。日南町の健康状況をみると、がんをはじめとした生活習慣病が死因の上位を占めています。年代別には、働き盛り世代である75歳未満にがんで亡くなる方が多い傾向にあります。このことから、75歳未満の健康づくりを重点的に取り組んでいます。

日南町における死因の状況（平成20～22年）



～住民検診～

【会 場】中央1か所（日南町総合文化センター）

【検診内容】各種健康診査（一般健診・特定健診・後期高齢者の健診）、各種がん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）、肝炎ウィルス検診のセット検診を実施。

【料 金】無料

【実施期間】平成25年6月～平成26年2月

【日 程】・年間7回

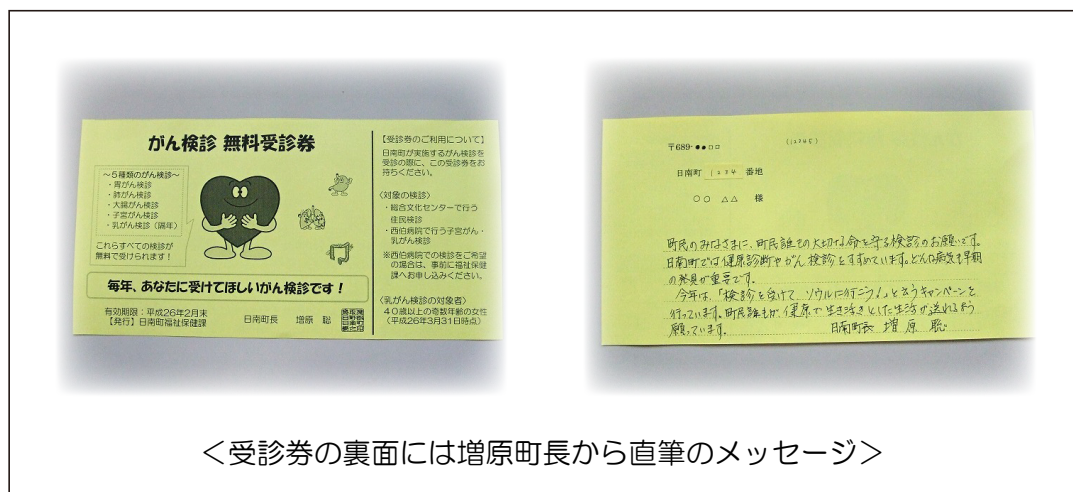
・休日検診を土日2回実施。

【委託機関】・集団検診は鳥取県保健事業団に委託。

・女性のがん検診については西伯病院での医療機関検診を無料で実施。

1. 検診のPR

住民検診開始前より、さまざまな啓発を行っています。効果的なPRとなるよう、今年度はチラシ等啓発物の紙質に配慮し、1年間大事に保管していただけるよう目につきやすい色や丈夫な紙質にしました。また、以前から無料でがん検診をしていましたが、よりおトク感を感じていただけるよう、今年度よりがん検診無料受診券を作成し、PRしました。事前送付の健康診査・がん検診受診券には、町長からの直筆メッセージを掲載しました。



＜受診券の裏面には増原町長から直筆のメッセージ＞

今年度は、40～50歳代の保護者をターゲットに、町内小学校の運動会にてチラシ配布を行いました。検診で着用する白衣に「検診を受けよう」の文字を貼りつけ、遠くから見ても目につき、検診の雰囲気盛り上げられるよう工夫しました。また、商工会より町内161箇所の事業所へチラシ配布をお願いし、大きな事業所へは事業所を訪問して検診PRをしました。

集団検診前には、町内CATV「ちゃんねるにちなん」に国保担当者と検診担当者が出演し、検診のミニコーナーを放送しています。今年度は町長も出演し、今年が目玉企画である「検診を受けて、ソウルへ行こう！」をPRしました。また、中海テレビ放送でも特集していただき、日南町の検診をPRしていただきました。



《今年度は「検診を受けて、ソウルへ行こう！」事業を実施しています》

【概要】

検診受診率向上を目指すため、検診を受診した町民を対象に応募された方の中から抽選で4名にソウル旅行を贈呈する事業です。

【目的】

がん等早期発見・早期治療および検診受診率向上を推進させるため、検診受診行動への動機づけとして検診に関心のない人たちが、検診へ関心を持つことができるようになることを目的としています。

【対象者】

住民検診に限らず、国保ミ二人間ドックや事業所検診、妊婦健診（子宮がん検診）を受けた方が対象になります。

2. 検診会場での待ち時間の工夫

昨年度の検診後アンケート調査により、検診受診には本人の意思が大きく影響していることがわかりました。また、「検診の待ち時間が長い」ことが指摘されていました。

このことを受け、“待ち時間を受診者にとってメリットのあるものにできないか”と考え、さまざまな工夫をしています。

①歯科衛生士による「歯と口腔の健康相談」 ②骨量測定 ③認知症タッチパネル

※①～③のコーナーも無料でご利用いただけます！

④健康川柳を作ろう！

待ち時間を利用してアンケート記入と健康川柳の作成をお願いします。川柳を趣味として取り組んでおられる方も多く、たくさんの作品をいただきました。今後、日南町の健康の合言葉になっていくよう活用させていただきたいと思っています。

⑤乳がん触診モデルの模型等、健康に関するグッズを展示

乳がんのしこりとはどんなもの？実際にはわからないという人も多いと思います。乳がん触診モデルや目に見てわかりやすい脂肪の模型をはじめ、ジュースに含まれる実際の砂糖の量を示したペットボトルなどを展示しています。グッズを用いて、長くなりがちな胃がん検診の待ち時間に保健師がミニ健康講座を実施して、健康について学べる場となっています。

これらの掲示物は、手書きで作成し、あたたかさが感じられる会場になっています。



また、会場内にある図書館と連携し、検診会場に健康に関する図書の紹介をしています。胃がん検診待合所には、図書の紹介とがんに関するDVD上映をしています。検診会場の通路には、各種がん等パンフレットを置き、無料配布しています。

⑥食生活改善推進員による減塩みそ汁の試飲

町内では高血圧で治療中の方が多い現状があります。毎日食卓に並びみそ汁ですが、自宅で作るみそ汁がどの程度の塩加減なのかを知ってもらうため、食生活改善推進員による減塩みそ汁の試飲をしています。



H25. 7. 19 (金)

飲んでもらった
味噌汁とくらべて、
うちの味噌汁は
かういひですか？
うすいひですか？



飯沼白川小学校



非常に かい	
かい	
少しかい	
ふつう	
うすい	
なもうすい	

3. 地域で健康について考える

地域の健康づくりのリーダーである地区保健委員の会では、検診に関するテーマでグループワークを行い、さまざまな意見を出していただいています。今年度は「検診を受けたことのない働き盛りの方に、検診を受けてもらうには？」をテーマに話し合い、住民の生の声を検診に活かしています。

地域では、自治会別の検診受診率を用いて、地域で健康教育を行いました。「検診を受けにくい理由」また、「どうしたら検診を受けようと思えるか」をグループで話し合い、発表してもらいました。

《地区保健委員の会でのグループワークでの意見（一部抜粋）》

① どうして検診に行かないのでしょうか？

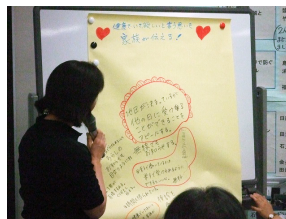
- ・ 休みをとって行く必要があるので、がん検診は受けない。
- ・ 住民検診は時間がかかる（特に午前は混む）
→ 時間の融通がきかない
- ・ 病気が見つかったら怖い
- ・ 面倒くさい
- ・ がん検診は人が混むイメージ



（グループワークの様子）

② 男性の検診に対する気持ちは？ どうしたら受けたくなるのでしょうか？

- ・ 男性の保健委員さんを増やす
- ・ ほめる（禁煙が成功してきた！など）
- ・ 夫婦で一緒に行く
（怖い気持ちをフォロー…待ち時間に話ができる）
- ・ 男性は気にしていても、結果を知りたくないという気持ち等あり、行きづらい。
- ・ 孫（子ども）から働きかける
- ・ 個人通知が来ると行く気持ちになる。
- ・ 健康でいてほしいという思いを家族が伝える♥

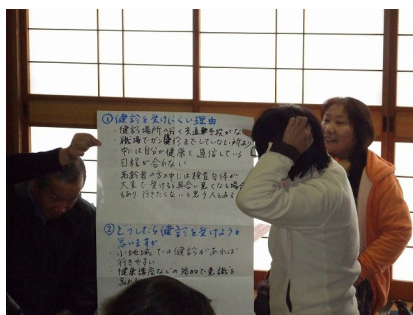


③ 事業所で検診を受けてもらうには？

- ・ 本人への働きかけと職場の理解が大切～受けに行きやすい雰囲気をつくる
（例：休みやすい）
- ・ 基本健診だけの事業所にがん検診に注目した情報提供やおトク感を伝える。
（基本健診だけうければOKではない！）
- ・ 職場で受けているので、町では受けなくてよいという認識があるのでは？
→ 事業所検診にない検診も受ける必要があることをアピールする！

④ こうしたら検診を受けに行く！

- ・ おトク感をアピール～日南町では、自己負担金が「無料」であること、半日で全ての検診が受けられることをアピール！
- ・ 受けることでご褒美があるのは良い（今年でいえばソウル旅行）
- ・ もっと町報の記事を充実させる～検診を受けた人やがんの体験談を載せる
→ 身近な人からの話は意識を変える
- ・ 家族と近所の人を巻き込んで健康づくりの輪を広げる
- ・ 家族ぐるみで検診を受ける～子どもから伝えてもらうために、学校からの周知をする
- ・ 「行け！」と言われるといきやすい
- ・ キャッチフレーズを作る→健康の標語を作る



《地域での健康教室での様子》

①検診を受けにくい理由

- ・検診場所に行く交通手段がない
- ・職場でがん検診までしていない所あり
- ・中には自分が健康と過信している
- ・日程が合わない

②どうしたら検診を受けようと思いますか？

- ・小地域での検診があれば行きやすい
- ・健康講座などの参加で意識を高める

など

4. 検診受診率アップを目指して

検診PR方法の工夫や今年度初めての「検診を受けて、ソウルへ行こう！」事業の実施により、初回受診者が増え、検診を受けていただくきっかけづくりができればと考えています。日南町では、検診が無料で受けられるので、多くの方に気軽に受けていただきたいと思います。

一度検診を受けられた方は、毎年受診される傾向にあります。今年度は検診未受診者を対象とした調査を実施し、未受診の方が初回受診者となるよう未受診者対策に繋げていきたいと思っています。また、同じ機関で検診を受けることで、結果表には経年データが記載されているので、自分の身体の変化を把握することができます。健康管理に活用していただきやすく、一つのおトクポイントです。未受診の方だけでなく、2年、3年と続けて受けていただきたいと思います。

「検診を受ける」という行動につながるには、『本人の意思』が一番重要です。住民みんなで健康について考える機会をもっと増やしていけたらと考えています。

日南町の集団検診には、親子・夫婦・近所の人を誘いあって来られる人が多いです。会場で友人に久しぶりに出会えたり、地域の人と乗り合わせで来られる人もあり、健康チェックだけでなく地域の交流の場ともなっています。また、検診後には会場の隣にあるショッピングセンターで買い物をされる人も多く、お店の1の日（1割引の日）に合わせて検診日程を設定することもあります。検診会場周辺には、農協や森林組合などの事業所があります。検診日に合わせて、農機の展示や花、植物の種、肥料などを店の前で売り出してもらうことで、町全体で検診を盛り上げ、関心のない方が「検診を受けてみようかな」と思える工夫を、今後実施できればと考えています。



健康づくりに検診を活かしていただくため、「来てよかった、また来よう」と思える検診を、今後も町民のみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。